

誠他道無

大島町立第一中学校
第3学年 学年通信 第5号
令和4年4月28日(木)発行

『木に学べ』

棟梁というのは何かいいましたら、「棟梁は木の癖を見抜いて、それを適材適所に使う」ことやね。建築は大勢の人間が寄りんとできんわな。そのためにも「木を組むには人の心を組め」というのが、まず棟梁の役割ですな。職人が50人おったら50人が私と同じ気持ちになってもらわんと建物はできません。

木にはそれぞれ癖があり、一本一本違います。産地によって、また同じ山でも斜面によって変わります。まっすぐ伸びる木もあれば、ねじれる木もある。材質も、堅い、粘りがあると様々です。木も人間と同じ生き物です。いまの時代、何でも規格を決めて、それに合わせようとする。合わないものは切り捨ててしまう。人間の扱いも同じだと思えます。法隆寺が千年の歴史を保っているのも、みな癖木を上手に使って建築しているのです。

自分からしてみせな。それが一番ですな。なんぼ上手に文句言うてもあきませんわ。やっぱりまず私自身、鉢巻をしめて汗を流して、その人の前でこういう風になってくれと、実際にしてみせんと。一人前の大工になるには早道はないということです。

いろんな人が、ぎょうさん法隆寺を見にきますが、世界で一番古い木造建築だからって見にくるんじゃ、意味がありません。古いだけがいいんやったら、そこに落ちている石の方が古いんや。法隆寺は1350年、石ころは何億年や。だから、古いからここを見にくるんじゃなくて、我々の祖先である飛鳥時代の人達が、建築物にどう取り組んだか、人間の魂と自然を見事に合作させたものが法隆寺ということを知って見にきてもらいたいんや。

建築物というのは重いもんでっせ。その重みをいかに分散して、太い柱で支えるかが構造ちゅうもんです。それぞれの部材が充分役割を果たして、余分というもんがないというのは美しいもんです。飛鳥の工人(職人)の作ったものは、その代表ですな。「人は仕事をしているときが美しい」いいますな。それは、人の動きや心に無駄がないからです。建造物も同じですな。機能美というんでしょうな、こういう美しさを。飛鳥の建造物にはこうした機能を第一とした美しさがありますな。

西岡常一「木のいのち 木のころ」ほか

西岡常一・・・法隆寺専属の宮大工。法隆寺の昭和大修理に参加し、金堂、五重塔などの解体修理にかかわる。薬師寺金堂、西塔の復元再建も手がけた。

今週の道徳

主題名：離任された先生方に手紙を書こう 内容項目：思いやり、感謝

授業では学年でお世話になった巽先生、奥秋先生、田畑先生に感謝の手紙を書くにあたり、一人一人の先生方とのエピソード(嬉しかったこと)を振り返り、なぜそのようなことをしてくれたのかまで深く考え、感謝の手紙を書きました。

【学習を通して大切だと感じたこと】

- 改めて手紙の良さに気付いた。何事にも感謝の気持ちを忘れないようにしたい。
- 当たり前のように全然当たり前じゃないことを先生たちがしてくれていることを再確認することができた。
- 振り返るとたくさんの先生方にお世話になっていて、しっかりお礼を伝えたいと思った。
- 素直になれない思いを伝えるときに、手紙を使って伝えたいと思った。

セーフティ教室

6日(金)13:30よりセーフティ教室を本校視聴覚室にて実施します。3年生は薬物乱用防止教室ということで、ライオンズクラブと大島警察防犯係の方にお越しいただき、DVD上映や講話をしていただく予定です。保護者の皆様もご参観いただけますので、お気軽にご参観ください。

来週の時間割

	2日(月)		3(火)		4日(水)		5日(木)		6日(金)			
	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B		
1校時	数学		憲 法 記 念 日		み ど り の 日		こ ど も の 日		英語			
2校時	体育								音楽		美術	
3校時	美術	音楽							社会			
4校時	国語								理科			
5校時	道徳								セーフティ 教室			
6校時	総合											

※GW中も規則正しい生活を心がけるとともに、コロナ感染症対策についても引き続き徹底していただきますようお願いいたします。

※修学旅行保健調査のめ切が2日(月)となっておりますのでよろしくお願いいたします。